



平成27年度 評議員会を開催



6月9日、平成27年度評議員会を開催しました。
開催にあたり井戸支部長からは、「ネパール地震や口永良部島の噴火など各地で災害が続いている。日赤が果たすべき救援救護の役割が重要となってくる。また、建設予定地も決まった柏原赤十字病院と県立柏原病院の統合や多可赤十字病院の医師不足など、医療を巡る課題にも傾注せざるを得ない状況ではあるが応援をお願いしたい。昨年度も多額の社資へのご協力に感謝申し上げるとともに、今年度は支部創立125周年の節目であることから一層のご協力をお願いしたい」と挨拶がありました。
そして平成26年度の事業報告に続き、平成26年度兵庫県支部一般会計および管下医療施設特別会計歳入歳出決算について審議が行われ承認されました。



企業・団体の皆さま 「赤十字支援マーク」をご利用いただけます

昨今、社会貢献活動の一環として、日本赤十字社の活動を支援しようとする皆さまが、支援の事実を示すため、赤十字マークを使用する事案が増加しています。
日本赤十字社の資金や活動をご支助くださる企業・団体様(個人を除く)には、「赤十字支援マーク」をご利用いただけます。

詳しくはお問い合わせください。
電話 078-241-8921 (振興課)

ご利用事例

ホームページなどの広報媒体での使用	商品やパッケージへの使用	自販機などへの使用
日本赤十字社 わたしたちは日本赤十字社の活動を支援しています。	日本赤十字社 売上げの一部は日本赤十字社の活動資金として寄付されます。	

文字パターン(2種類)×デザイン(4種類)の組み合わせで選ぶことができます。

ひよごの 赤十字

2015 July 7 月

訓練の積み重ねが大事



- 警察署や交番などに救急箱とAEDを設置
- 「その時」に備え、救護員研修会を開催
- 平成27年度評議員会を開催
- 企業・団体の皆さま「赤十字支援マーク」をご利用いただけます
- 講習のご案内

講習のご案内

お問い合わせは、お電話またはホームページで 電話 078-241-1499 (講習係)

救急法基礎講習(1日受講) 9/26(土) 13:00~17:30	水上安全法(救助員養成講習会2)(海講習) 9/6(日)・12(土)・13(日) 9:00~17:00(最終日は~15:00まで) ※受講資格制限あり	科目別講習 講習の一部のテーマを短時間で習得できます。
救急法救急員養成講習(2日間受講) 9/12(土)・13(日) 9:30~17:30	幼児安全法(3日間受講) 8/7(金)・8(土)・9(日) 9/3(土)・10(日)・17(日) 10:00~16:00	幼児安全法講習 子どもの病気と看病のしかた 8/28(金) 10:00~12:00
救急法基礎・救急員養成講習(3日間受講) 8/23(日)・29(土)・30(日) 9/19(土)・20(日)・21(月祝) 9:30~17:30(初日は13:00~)		幼児安全法講習 乳幼児の一次救命処置(PBLS) 8/28(金) 13:00~15:00

◇申込期日は開催日(初日)の一月前までです。 ◇会場は日本赤十字社兵庫県支部です。



日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区臨海通1丁目4番5号

電話 078-241-9889

赤十字 兵庫 検索



訓練の積み重ねが大事

～第4ブロック合同災害救護訓練を実施～

6月13日、和歌山市の片男波海岸にて、巨大地震と津波に備えた大規模な合同災害救護訓練を行いました。

この訓練には、被災者の救護や支援に当たるため、日本赤十字社第4ブロック(近畿2府4県)の支部や赤十字病院をはじめ、赤十字奉仕団や防災ボランティア、警察や消防など、およそ600人が参加。

紀伊半島沖を震源とするマグニチュード9.1の巨大地震が発生したという想定で始まり、近畿2府4県の救護班が集結。救護所の開設・運営訓練、災害対策本部内の薬剤師チームが各救護所の傷病者に必要な医薬品の種類と量を確認し配分する薬剤コーディネーター訓練、家族を亡くした被災者などへのこころのケア訓練のほか、効率的な救護を図るため、救護班や救護所にいる傷病者などの情報を共有する広域災害救急医療情報システム(EMIS)を使った入力訓練を行いました。

また赤十字奉仕団や防災ボランティアによるボランティアセンター支援訓練では、ボランティアセンターの立ち上げやボランティアの受入れ、車両誘導や安否調査などを行いました。

予想外のことも多くありましたが、実際の災害ではこれ以上の混乱が予想されます。しっかり対応できるようこれからも災害への備えに努めてまいります。



救護所前にあられる傷病者の治療優先度を定めるトリアージ訓練に取り組む赤十字救護員



各救護所との薬剤のやり取りを記録する対策本部内の薬剤師チーム



傷病者役の看護学生がメイク中。ただ演じるだけでなくその傷病について事前に学習し参加



家族を亡くした被災者へのこころのケア訓練に取り組む看護師



いのちと健康を守る赤十字活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています

活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からもご協力いただけます

口座記号番号：01110-0-1136
口座加入者名：日本赤十字社兵庫県支部

※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。



警察署や交番などに救急箱とAEDを設置

～県民の皆さまの安全安心な暮らしのために～

5月20日、県民の皆さまの安全安心な暮らしのために生かしていただくこと、救急医薬品750セットと自動体外式除細動器(AED)20台を県内の警察署や交番などに設置しました。

県内の交番へ救急箱を設置し始めたのは昭和33年度から。昨年度は357件の交通事故や転倒によるケガなどの応急手当てに役立っており、利用者からも感謝の声をいただいています。設置後は毎年医薬品の補充も行っています。

また、当支部では、ひとりでも多くの命が救えるよう市役所や町役場へAEDの設置を進めてきました。そして、平成23年度からは警察施設へも開始し、これまでに76台を設置しています。

委託式では「警察署や交番に行けば救急箱やAEDがあることを知っていただき役立ててほしい」と逢坂事業部長から兵庫県警察の坂本地域部長にAEDが手渡されました。



坂本地域部長へAEDを手渡す逢坂事業部長

【平成27年度のAED設置場所】 ※()は管轄警察署名

鈴蘭台交番(神戸北)	神津交番(伊丹)	本町交番(三木)
長尾交番(有馬)	加茂交番(川西)	滝野交番(社)
業平橋交番(芦屋)	つつじが丘交番(宝塚)	網引交番(加西)
西宮中央交番(西宮)	南ウッディタウン交番(三田)	西脇中央交番(西脇)
中津交番(甲子園)	篠山交番(篠山)	別府交番(加古川)
元浜交番(尼崎南)	柏原駅前交番(丹波)	小野警察署 ※仮称
モスリン橋交番(尼崎東)	小久保交番(明石)	



救急箱設置場所はこのマークが目印



「その時」に備え、救護員研修会を開催

災害救護活動は、日本赤十字社の使命でもある重要な活動です。

いつ発生するかわからない災害に備え、赤十字救護員として必要な知識と技術を習得するための救護員研修会を開催しました。



平成27年度救護班主事研修会
救護班の中で主事の役割、災害現場での情報収集や記録の仕方、無線機や衛星電話を使った情報伝達、仮設診療所となるドラッシュテント(*)の組み立てなどを行いました。
※素早く組み立てられるフレーム一体式急速展開テント。



平成27年度救護員基礎・実践研修会
日本赤十字社の災害時の役割や救護班が行う活動などを確認後、実際に医師・看護師・主事で編成した救護班で災害救護活動のシミュレーションを行いました。



救護員こころのケア研修会
講義やグループワーク、ロールプレイング(役割演技)で、災害時のストレスの理解や被災者へのこころのケアのほか、救護員へのこころのケアについても学びました。

研修会に参加した職員は「赤十字救護員として強く自覚した。これからも研修や訓練を積み重ね、その時には迅速に動けるよう備えたい」と語っていました。